令和７年度　天使の園保育園事業報告書

１　施設の運営

①　令和７年度　職員動向

職種／人数	園　長	保育士勤務別		調理員勤務別		看護師	事務会計	幼稚園教諭
	正勤	正勤	パート	正勤	パート	パート	パート	パート
	1	12	3	1	1	2	1	1
小計	1	15		2		2	1	1
合計	22 名							

②　７年度児童の動向（入園日　毎月１日付　　退園日月末）

	進級	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	充足率
新入園児		8	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	13	
在 園 児	62	70	70	71	72	72	73	73	74	74	74	74	74	871	121.0%
退 園 児		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0			
６年度	57	62	61	61	61	64	64	67	71	71	72	73	73	800	117.6%

③　職員会議他開催状況

名称　　月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
職 員 会 議	4/17	5/22	6/17	7/15	8/18	9/16	10/22	11/20	12/16	1/21	2/18	3/9	12
ミ ニ 会 議	4/21	5/29	6/20	7/17	8/20	9/17	10/23	11/25	12/19	1/23	2/20	3/12	12
各種委員会	危機管理委員会　　環境部　　地域子育て支援部　　園内研修委員会　　図書委員会 食育プロジェクト委員会　　給食部委員会　　衛生管理部　　研修委員会												

※今年度、園内での新任職員研修ができなかった。これまでは新任職員を 2～3 年かけて共に研修してが、仕事の流れも汲み取りながら日々をこなしておられる。

※職員会議を子どもの午睡中にするようになってから、職員の勤務外の負担軽減につながればと考えている。

※今年度は各種部会の活動の振り返りが十分ではかかったが、少しづつ自主的な流れができているように見受ける。

※子どもの午睡中に数多くの目には見えないところでの業務を消化していることに驚きとともに感謝したい。今年度は職員の積極的な動きが目に留まった。特に大きな行事等に関しては計画的に取り組みスムーズに運営されていた。

※職員会議の前に法人の精神について園長は短い講話に取り組む。会議の短い時間の中で小さいことの積み重ねを経験されることは必要なことと思っている。職員も宗教や思想も異なる中で同じ精神で子どもたちの命にお仕えすることは大変な努力であろうと察する。しかし法人の精神が柱にあることこそが本園の精神の中心にな

いといけないことも事実であろう。大切なことと思う。創立者の書物や法人から提供されている資料等を踏まえながら十分とは言えないが続けている。

④　保育活動の実践

保育理念（事業運営方針） 基本（保育）方針 保育目標（0 歳児）	キリストの教えに根ざして　　【法人標語＝一つの心一つの魂】 一人ひとりを大切にする保育＝丁寧に＝ 心身ともに健やかな子ども（健康な体　感性豊かな子ども）

◎　一人ひとりが神さまから与えられた「いのち」を大切に育み、身体的個性や養育環境による発達過程を大切にしながら、意欲を持って生活する子どもを育てる保育を目指し人格形成に努める。

◎　心身ともに健やかな子どもの発達を目指して、健康な体　感性豊かな生活ができるように努める。

◎　十分に養護のゆきとどいた環境のもとに、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を適切に満たし、生命の保持及び情緒の安定を図る。

◎　健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う。

◎　人とのかかわりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして自主、協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う。

◎　自然や社会の事象に興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力を培うと共に、喜んで話したり、聞いたりする態度や豊かな言葉を養う。

＊上記は 0 歳児の保育目標であるが 5 歳児まで、年間を通してそれぞれの目標に向かって保育に取り組んでいる

1）季節と行事に応じた体力つくり	1 春：お見知り遠足、園庭散策、自由遊び、基礎体力の訓練、卒園児との交流会 お見知り遠足は熊本市動植物園の予定であったが雨天の為園児のみ園内 2　夏：水・プール遊び、体育遊び、お泊り保育、夏祭り 3　秋：運動会とその練習、敬老の集い、園外保育、秋の遠足、 4　冬：縄跳び大会、マラソン大会、冬の遠足、修園遠足、クリスマスお祝い会 ＊修園遠足は、熊本子ども文化会館	
2）歌のレッスン 3）ダンスのレッスン 4）体育教室	毎月　火　1・3 2・4 毎週水曜日	＊歌はレッスン１８年を終了　レッスンの効果は絶大である 今年度は 3/15 県立劇場において「お花見コンサート」に賛助出演でき、皆様に好評であった。 ＊今年度は講師なしで保育士の方で実施。 ＊年長児は年間を通して各種の技能も卒園までには身に付け健全育成と就学前の準備を実践することが出来ている。
5）親子参加行事	＊親子が十分に健康的に触れ合う場の提供とその機会としたい 【お見知り遠足.夏祭り.運動会.餅つき.クリスマスお祝い会.保育参観等】 ＊今年度は「水泳大会」「マラソン大会」時の見学を可能とし保護者の見学者が多かった。 ＊マラソン大会について 2 歳児＝運動場 2 週　3 歳児＝運動場 2 週+庭 2 周　4 歳児＝運動場 2 周+庭 3 周 5 歳児＝運動場 2 周+庭 4 周・・距離が長くてもしっかりと走り切っていた。	

6）保育参観	＊11/13 実施。　ほとんどの保護者が参加されていた。おやつの試食会も行い好評であった	
7)保護者支援 関係機関との連携	＊相談内容：子どもの健康上の相談 ＊昨年度に引き続き園児の発達状況の理解と小学校入学に向けての保護者、保健師等との連携。	
8）個別面談	＊実施日：6/ 2 ～6/27（各 20 分程度） ＊感想：この機会にじっくり話を聞く中で、子育てに悩み、心配されている保護者と関わりを持ち続けることの大切さを感じる。家庭での子どもの様子や親の考え方見方等により保護者の気持ちをよく理解し前向きに子どもの成長を捉え、いい保育が出来たらと考える。	
9）保護者との連携	※連携手段	連絡帳　園便り　クラス便り　隔月発行のすくすく便り（保健衛生）　隔月発行の給食便り（食育）　送迎時の個別対応 ＊お便りやアンケート等に対して保護者からの反応が少ない。
	※「保護者の会」との関わり	＊1 歳から 3 歳までの「フッ素塗布」の年間 3 回分の代金と薬品代を「保護者の会」の会費の中から拠出　4～5 歳児の年間通してのフッ素洗口の代金の半分は会費の中からの拠出金で、残りの半分は«オラブリス洗口用顆粒 11%»液は熊本市からの補助があった。すべての子どもに公平性が図られ健康維持と向上が図られていることはありがたい。（今年度 12 年目）
	※諸行事の協力	・運動会⇒当日のテント張り等の準備、後片付け 当日の駐車場整備は業者の方に委託している。保護者の負担軽減のため。ただし経費は「保護者の会」の会費からの協力。 ・夏祭り⇒行事そのものを「保護者の会」主催 子どもたちに喜んでほしいと、工夫されていた。 ・餅つき⇒1 月の寒い中伝統的なやり方で子どもたちと一緒についで楽しんでいた。

＊年齢が増すごとに虫歯の保有率が高くなっている。保護者に治療を進めるが受け止める保護者も限定的であり期待が持てない部分もある。　就学前になって慌てて治療に連れて行かれる方もあっていたが、虫歯のままでの生活や活動に影響してくることを考えると、園としてももっと積極的に治療を促す取り組む必要性を感じる。

12）宗教教育と園内月目標

月	宗教目標	全　体　目　標		月	宗教目標	全　体　目　標	
4月	復活	感謝	ありがとうの心	10月	天使	親切	優しい親切な心
5月	マリア様	協力	約束を大切にし助け合う心	11月	神への賛美	労働	喜んでお手伝いをする心
6月	イエス様	自制心	我慢する心	12月	主の誕生	献身	人に尽くす心
7月	自然界	尊敬	人を大切に思う心	1月	聖家族	自信.計画	自分で考え選び取る心
8月	平和	自主性	よいことを進んでする心	2月	主の友達	自覚	自分のことを人に伝える強い心
9月	めぐみ	寛容	誰とでも仲良くする心	3月	感謝	希望	卒園.進級を喜んで迎える心

＊「神様がいつもともにいてくださる」ことを通して命の大切さを知り、ともに生きていくことの大切さ、集団生活の中で学ぶことの大切さを保育の中で伝える。
＊「神様のお話の時間」：園全体として定着してきた。保護者や地域の方々からも「法人（保育園）としての理念方針」がはっきりしているので安心して預けられるとの評価もある。
＊聖歌　祈りが保育の中でスムーズに溶け込めるような雰囲気を日頃の保育の中で大切にしている。
＊遊びや何気ない戯れの中でも聖歌を歌ったり聖歌の替え歌を作ったりしている歌が聞こえてくる。神様がいつもともにいてくださることへの信頼とお互いが大切にしあう心が育ってくれたらと願う。
＊歌のレッスンによって発声が身についてきているように思う。
＊神様のお話の方法：紙芝居　素話　が主であった。週の始めの月曜日の最初の時間を『神様の話の時間』として設定している。

II 安全・危機管理について
＊駐車場の利用に関して、「駐車場の利用に関して」のプリントを配布し、年間を通して注意喚起を促す必要があった。
＊安全管理のマニュアルも作成済みであり、その都度注意を促す文書も配布している。
＊建物の管理、遊具の管理、戸締り、火気確認に関しても十分な注意を払い、日誌に記録する等して努めている。

交通安全指導日誌

月	ひよこ組	りす組	うさぎ組	ぱんだ組	きりん組
5月		・子どもの日祝福式のための移動（修道院）→散歩車			
7月					・お泊り保育（熊本博物館） バス、市電、徒歩、タクシー、
10月	・秋の遠足(渡鹿公園)→徒歩			・秋の遠足(中川鶴公園)→徒歩	
11月	・園外保育(渡鹿公園)→徒歩			・園外保育(白川公園)→バス、徒歩	
				・勤労感謝デー(県警機動隊)B→徒歩,(中央消防署)A→徒歩	
					・ゴミ拾いボランティア（渡鹿公園）
12月					・シルエット劇場(市民会館)→バス、徒歩 ・クリスマスミサ(帯山教会)→徒歩
2月		・散歩(渡鹿公園）→徒歩			・防犯訓練（渡鹿公園） ・交流会（託麻原小学校） ・修園遠足(子ども文化会館)→バス、市電、徒歩
3月	・散歩(渡鹿公園)→徒歩	・散歩(渡鹿公園）→徒歩	・散歩(渡鹿公園)→徒歩		
反省	・未満児は散歩車、誘導ロープ、友達と手を繋ぐなどの手段で移動する。職員も厳重に注意を払い引率を行い、子ども達も景色や車に興味を示しつつ散歩のルールをしっかりと守っていた。 ・並んで歩く・手を離さない等の約束事をきちんと守り行くことができた。 ・園外活動時、Cグループの歩くスピードがゆっくりであった。日頃から体力作りをしていきたい。				

非常災害対策訓練実施報告

実施日	設定	園児数	職員数	感想・反省・特記事項
4/18	幼年消防クラブ結成式	15/17	4/22	・消防署より4名来園。 ・事前に幼年消防クラブとはなにか説明した上で参加している。「おかしも」の約束事も理解しており、消防職員の方からの問いかけにもよく発言していた。

4/30	火災 火元：調理室	63/70	17/22	・所々、クラスの窓が開いたままだった。 ・以上児クラスはサイレンの音を聞き、どこから出火したのかよく聞いて避難ができた。 ・年長児が幼年消防クラブで教わった「おかしも」の約束事について、全体でも確認した。
5/20	火災 火元：調乳室	68/70	17/22	・職員同士口頭で火災を知らせたが、スムーズに周知できた。初期消火に当たった職員が負傷したため、子どもたちも驚いた様子だった。以上児クラスは走って避難していた為、慌てず避難するよう声を掛けた。
6/17	地震、火災 火元：調理室	63/71	16/22	・地震の避難訓練の際、テラスにいたうさぎ組にアナウンスが聞こえておらず、避難が遅れてしまった。そのような状況では、中に戻って机の下に避難するよりも外に出た方が安全だろうと反省に上がった。避難後は、地震が起きた時のお約束について紙芝居を用いて説明している。 ・地震直後の火災避難訓練では、地震の影響もあるため無理に窓を閉めようとしなくてもいいと反省に上がった。
7/7	火災 火元：調理室	63/72	19/22	・各クラス声を掛け合ってスムーズに避難できた。煙をできるだけ吸わないよう低い姿勢で逃げることが今回の訓練の課題ではあったが、どのクラスもすぐに外へ出たのでその必要はなかった。 ・夏の訓練の際には芝が厚くなっているため、入室する前にシャワーを使って水を撒くと足裏の低温やけどを防げるのではと思った。
7/15	水難訓練 発生場所：以上児プール	65/72	21/22	・通報訓練　中央消防署より３名来園。処置のアドバイスを受ける。昨年の反省を活かし、プール期間が始まってすぐ訓練を行うようにした。 ・プール中の子どもたちは職員の笛の合図（緊急時）で速やかに遊びを止め、指示を聞くことができた。職員の動きもスムーズだったが、今後は誰でも処置ができるような訓練や未満時プールでの想定も必要かと思う。
8/18	火災 火元：畑の前	55/72	14/22	・以上児はサイレンとどこから出火したのかを聞き、速やかに避難できていた。 ・りす組とうさぎ組の子どもが数名、裸足で外に出るのを嫌がり少し避難が遅れた。 ・ぱんだ組の窓の閉め忘れと扇風機の消し忘れ有り。
9/5	火災 火元：学園大寮	68/73	21/22	・午睡時での訓練 ・以上児はサイレンを聞いてすぐに起き、スムーズに避難ができた。日頃の訓練が身についているのだろうと思う。未満児も泣いたりすることなく職員の誘導の元速やかに避難できた。 ・廊下のシーリングファンの消し忘れ有り。

9/24	台風避難訓練	68/73	20/22	・放送をよく聞き、職員の指示に従って荷物をまとめ静かに集まることができた。 ・台風の風でガラスが割れて飛び散ったりしないようにカーテンを閉めて避難をした。 ホールに集まった後は、うさぎ、ぱんだ、きりん組で「たいふうがやってきた」という台風の時の過ごし方に関する紙芝居を読み聞かせした。
10/2	火災 火元：調理室 （食事中）	65/74	17/22	・以上児クラスには訓練日の２週間前から食事中の火災避難の仕方（箸を置いて、椅子を入れる）を伝えていたため、当日も約束事を守って避難できた。
11/18	火災 火元：修道院 （通報訓練）	68/74	18/22	・消防署より４名来園 ・消火器の使い方を指導してもらい、職員が実際に体験した。 ・通報訓練では、何が燃えたか、出火場所はどこかを尋ねられるため、可能であれば出火場所が見えるところからの通報が望ましいと指導があった。 ＊通報のしやすさや初期消火の指導をもらうためにも、次年度からは火元は保育園内に設定するようにする。
12/22	火災 火元：外の倉庫	63/74	18/22	・外で活動していたクラスもあったが、他クラスからの伝達を受けて事態を把握し、しっかり避難できた。 ・ぱんだＢグループは火災発生時外で縄跳びをしており、離れた場所に置いていた縄跳びを取りに戻ろうとした子が１名いたとのことで、避難優先であることを伝えている。 ・ひよこ組の電気の消し忘れ有り。
1/27	熊本市で地震 火元：調理室	73/74	19/22	・うさぎ組と以上児クラスは集まり中だったため地震の放送が聞こえていなかった。地震の訓練とわかってからは速やかにテーブルの下に避難することができた。 ・以上児クラスは上靴で、うさぎ、りす組は裸足のまま避難した。地震後ではあるが、靴を履くと逃げ遅れてしまうので子どもの靴は職員が持っていく。 ・ひよこ組の避難がスムーズにできるように、散歩車の置き場所をひよこ組の出入り口にした方がいいのではと意見が出た。 ・ぱんだ組の窓の閉め忘れ有り。子どもの避難を優先した。
2/12	火災 火元：公務員住宅	69/74	19/22	・サイレンの音を聞いて緊急事態を察知し、すぐに避難しようとする姿があったり、未満児も口を手で押さえて避難する姿が見られた。 ・「おかしも」の約束事をよく覚えていた。以上児の中には、笑ったりしゃべったりして注意を受ける子もいた。
3/4	幼年消防クラブ終了式	17/17	3/22	・中央消防署より４名来園。 ・今までどんな姿勢で取り組んできたか改めて話す中で、「園のリーダーとして訓練してきた」という思いを持っており、「おかしも」の約束もしっかりと理解できていた。

3/24	火災 火元：職員室	65/74	17/22	・午睡時ではあったが寝起きも悪くなく、スムーズに避難することが出来ていた。ひよこ組の前に散歩車を置くようにしたため０歳児もスムーズに避難出来た。 ・きりん組の子どもの中には、サイレンを聞いてすぐ部屋を出ようとする姿が見られた。どこで・何が起こったかをしっかりと聞いて避難するよう声掛けを行った。
備考	初期消火は基本調理師が行っているが、火元が調理室から遠い場合は近くの職員が行うようにする。			
反省	・火災時はサイレンと職員の指示とよく聞き落ち着いて避難することができていた。またどこから出火したか、どこに避難するかなどよく聞くことができていた。 ・火災の時などどうやって避難するか（姿勢・口を覆う）以上児クラスではしっかり伝えていきたいと思う。 ・水難訓練では以上児クラスのプール時間だけでなく、未満児のプール時間でも訓練ができたらと思う。 ・地震の際にアナウンスが聞こえていないクラスがあったため、日頃から子どもたちに声の大きさを伝え職員もアナウンスが入っていないか気にかけるといいとおもった。			

防犯訓練

月	設定	ねらい	幼児の活動	反省・改善点・特記事項
5/27	・玄関から園庭に侵入 ・不審者かどうか不明	・緊急時の笛の使い方 ・役割分担と内容確認 ・不審者かどうかの確認の仕方	・保育者の笛、放送で速やかに避難。 ・戸外の子どもたちは近くのホールへ避難。	・笛の合図でも避難しようとしない以上児もいたが、全体的に速やかだった。 ・不審者にすぐに気づき施錠も早かったが、未満児の戸外からの非難が大変そうであった。 ・笛の合図は緊急事態だということを再度伝える。
7/24	・玄関から室内に侵入。午睡時の対応の仕方。	・午睡時の対応の仕方 ・不審者の侵入防止の実際と退去のさせ方。	・放送後職員の指示を聞く。 ・職員の指示を聞き静かに待機する。	・職員は放送を聞き素早い対応ができていた。 ・起きている子どもも静かに待機できていた。 ・室内に入られないよう、すぐに玄関の戸締りが出来ていた。
9/16	・園庭で遊んでいる時の不審者の対応。 ・子どもに近づき声をかける。	・職員間の連携の取り方。 ・避難誘導。 ・不審者から子どもを守るための防御 ・「いかのおすし」の周知 ・防犯についての紙芝居の読み聞かせ	・不審者から離れ、身を守る。 ・保育士に不審者の存在を知らせる。 ・保育士の指示に従って避難する。	・始めはジロジロ見ていたがすぐに不審者と気づき、声掛けを無視して急いで避難することが出来ていた。 ・不審者に気づき次第、すぐに笛を吹くことを徹底する。 ・ホールで活動していたクラスも一番近い部屋に素早く避難出来ていた。 ・職員室の鍵が開いていた。

11/20	・ホールの外から室内に入ってくる時の不審者対応。 ・避難時怪我人が出た。	・不審者隔離の方法。 ・負傷者の対応。	・自分のクラスや近くのクラスに入り、身を守る。 ・保育士の指示に従って避難する。	・不審者に気づき次第、周りの職員に伝えたり、笛を吹くことを徹底する。 ・クラスの人数を確認し、居ない子や逆に他クラスの子が他のクラスに入っていたら伝え合う。
2/9	・園外保育時の不審者対応。 ・避難誘導。	・園外保育時の不審者への対応。 ・地域との連携。	・園外で不審者と遭遇した際は、大人の指示の下子ども避難の家へ駆け込む。	・子どもたちは、怯えて走って避難しようとしていたので、慌てず保育者の指示を聞くよう声をかける。 ・園外で遊んでいたため子どもの近くに行っても気づかない子が多かった。 ・不審者に気づくとすぐに保育者の所へ逃げる子、怯えて動けずにいる子と様々であった。
3/26	・戸外遊び時園の職員駐車場より侵入。 ・手には凶器。	・笛の合図で知らせる。 ・不審者から子どもを守るための避難の仕方。	・笛の合図や指示で部屋へ避難する。 ・部屋では静かに潜んで待つ。	・園庭で遊んでいた園児は保育士の笛や、不審者を見た子どもがすぐに気付き避難したので日頃の成果が出ていた。 ・靴のまま室内に避難することができていた。
反省	・不審者を見かけても遊んでいたり、怯えている子がいたため不審者を見かけたらどうするべきかしっかりと伝えていきたい。 ・子どもだけでなく職員も落ち着いて施錠、人数確認等を行い子どもたちをしっかりと守っていきたい。また、不審者に気付き次第周りの職員に知らせたり笛を鳴らすことを徹底していきたい。			

安全点検状況　①遊具

点検日	破損個所	対応
5/30	・木馬の座る部分（左右）がぐらついている。隙間に指が入ると挟まりそうである。	・業者に依頼し対応済み。
10/27	・三角屋根の家と木製の滑り台が付いている木の遊具のボルトが緩んでぐらついている。	・業者に依頼し対応済み。

②施設　設備

点検日	破損場所	対応
4/30	・ホール横の手洗い場の水道が詰まりやすくなっている。	・
	・ぱんだ組の子どもの椅子の一つにささくれがある。	・予備の椅子と交換して対応済み。
5/30	・ひよこ組の靴箱の表面が剥がれている箇所がある。	・テープで補修し対応済み。
	・りす組の手洗い場のシンクについているクッションが剝がれている。	・接着剤などで付け直して対応済み。
7/31	・廊下天井のシーリングファン、真ん中の一つが使用時に揺れることがある。	・様子見。
	・ひよこ組のベビーベットの柵で子供が頭を打ちそうになる点	・様子見。

	が気になる。	・テープで補修して対応済み。
9/30	・ひよこ組にある歩行階段の手すりが少しぐらついている。	・様子見。
	・以上児用トイレの便座にひび割れ箇所あり。	・業者に依頼し対応済み。
10/29	・調乳室の扉のしまりが悪くなっている。	・様子見。
11/28	・うさぎ・ぱんだ・きりん組の靴箱、劣化により割れている箇所やささくれがある。	・ささくれがひどい場所はテープで補修し対応済み。
	・きりん組前のテラス、少し浮いている板がありきしんでいる。	・ねじを締めなおして対応済み。
1/30	・ぱんだ組の椅子２脚、背もたれ部分にささくれあり。	・テープで補修し、予備の椅子と交換して対応済み。

ヒヤリハット

月	月日　　年齢　　性別　　内容
6 月	3 歳児　打撲 食事中、椅子から立ち上がった際に左肘を椅子にぶつける。ぶつけたかひねったかは不明。
3 月	5 歳児　骨折・脱臼 遊具に登り、1/3 の高さくらいから転落し腕が下敷きになる状態で落ちる。 保護者に連絡を入れ、病院受診。右モンテジア骨折により、手術にて固定 30 日程ギブス使用となる。
R7 年度	種目別
	誤飲　0　殴打　0　アレルギー　0 切り傷　0　転倒　0 転落　1　挟まり　0 衝突　0　擦り傷　0　その他 0　打撲 1

Ⅲ　意見要望等に関する受付結果報告

月・日	内　　容	検討結果
8/2/12	・昨年のマラソン大会時に我が子が順調に走り２位くらいで走っていたが、他児が転倒し応援していた保護者がトラック内に入ってしまい、後ろから走ってきた２名の子どもも足をとられてしまい転倒してしまった。結果２位だったが５位となりがっかりした我が子の表情にしばらく眠れないほどだった。今年は、芝生の方にもラインを入れてほしい。保護者にも呼びかけて欲しい。	・会議の場で、提案しライン引くことにし、子どもたちも１度は練習ができた。 当日応援に来られた保護者に向けて「トラック内には立ち入らない事、ラインより内側にも立ち入らないように」という内容のお願いのアナウンスをした。無事マラソン大会終了した。

Ⅳ　絵本貸し出し利用状況

月	第１週	第２週	第３週	第４週	第５週	計
4						0

5		35	25	25	25	110
6	19	31	36	32		118
7	24	27	43	17	32	137
8	42	7	33	29		111
9				25		25
10	50	41	51	35		177
11	44	42	35			121
12			34			34
1		39	53			92
2	63	63	59	52		237
3	2 月 27 日で今年度の貸し出しは終了					0
合計	242	285	369	215	57	1162

・過去との比較

年度	貸し出し日数	年間貸し出し数	1 回平均
令和 2 年度	6 日	231 冊	39 冊
令和 3 年度	0 日	0 冊	0 冊
令和 4 年度	0 日	0 冊	0 冊
令和 5 年度	29 日	891 冊	30 冊
令和 6 年度	33 日	1083 冊	32 冊
令和 7 年度	32 日	1162 冊	36 冊

年度	年間児童数	年間貸し出し冊数	絵本登録冊数	紙芝居登録冊数
令和２年度	75.5	231 冊	2533 冊	662 冊
令和３年度	71.9	0 冊	2538 冊	690 冊
令和４年度	70.5	0 冊	2538 冊	718 冊
令和５年度	69.3	891 冊	2556 冊	764 冊
令和６年度	66.6	1083 冊	2610 冊	769 冊
令和７年度	72.5	1162 冊	2658 冊	802 冊

《反省・感想》

・前年度の反省を活かし、今年度は年に２回図書便りを発行することができた。
・図書便りのおかげか、毎月少しずつ貸出冊数が増えている。絵本に親しめる環境づくりができていると感じる。
・行事前は貸し出しが難しいことがあったので、状況を見て休みにしている。
・古い絵本の扱いが滞っておりそのままになっているので、処分するか補修するかを決めて整理する必要がある。
・絵本の貸し出しについて、職員の負担が大きいとの意見があり、次年度は月に２回程度で貸し出しをしてはどうかと検討している。

Ⅴ　健康管理の実施状況

1）　月別受診者数

４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
0/70	70/70	1/70	1/71	1/72	1/73	0/73	72/74	2/74	0/74	0/74	0/74

2)　内科検診受診結果内容　　R7．5.14(水)

ひよこ組（０）	全員異常なし
りす組（１）	H.I…左肺雑音
うさぎ組（２）	全員異常なし
ぱんだ組（３）	T.S　皮疹

ぱんだ組（４）	全員異常なし（欠席者：２名）
きりん組（５）	全員異常なし

欠席者・途中入園者（後日受診）

ひよこ組	４名
りす組	0
うさぎ組	0
ぱんだ組C	0
ぱんだ組B	２名（異常なし）
きりん組	0

R7.11.7（金）

ひよこ組（０）	全員異常なし
りす組　（１）	全員異常なし（欠席者：１名）
うさぎ組（２）	全員異常なし
ぱんだ組（３）	T.S…皮疹
ぱんだ組（４）	T.R…両側扁桃肥大
きりん組（５）	Y.S…心雑音　N.S…皮疹　（欠席者：１名）

欠席者・途中入園者（後日受診）

ひよこ組	0
りす組	1名（異常なし）
うさぎ組	0
ぱんだ組C ぱんだ組B	0 0
きりん組	1名　（異常なし）

3）歯科健診結果報告

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0/70	0/70	66/70	1/71	1/72	1/73	0/73	1/74	0/74	0/74	0/74	0/74

R7．6．12（木）

ひよこ組（0）	全員異常なし　（欠席者：1名）
りす組（1）	全員異常なし　（欠席者：1名）
うさぎ組（2）	全員異常なし
ぱんだ組（3） ぱんだ組（4）	T．T…虫歯1本　　M．Y…虫歯2本と治療済3本 M.S…虫歯4本　K.R…虫歯2本　Y.T…虫歯1本
きりん組（5）	M.T（観察）H.K…虫歯2本　Y.K…虫歯3本　A.I…治療済2本 T.H…虫歯1本　治療済1本　Y.S…虫歯1本　M.N…虫歯4本 （欠席者：2名）

欠席者・途中入園者（後日受診）

ひよこ組	５名（異常なし）
りす組	１名（異常なし）
うさぎ組	0
ぱんだ組	0
ぱんだ組	0
きりん組	２名（異常なし）

園内預かり投薬状況

月	ひよこ組	りす組	うさぎ組	ぱんだ組	きりん組	計
4						0
5	1	2				3
6						0
7					1	1
8	1	1				2
9	1		1		1	3
10			1			1
11	1	1				2
12						0
1				1		1
2	1	1		1		3
3						
計	5	5	2	2	2	

例年に比べ、全クラス投薬依頼の提出が少なかった。

健康連絡表

	ひよこ	りす	うさぎ	ぱんだ	きりん	計
発熱	３３	２５	8	２３	5	９４
嘔吐	1	2		2		5
下痢	2	2				4
呼吸ゼーゼー	1		1			2
耳だれ	1					1
便秘			1			1
発疹				5	1	6
頬の赤み				1		1
目の腫れ				1		1
りんご病疑い					3	3
計	３８	２９	１０	３２	9	118

・新年度４月にりんご病疑いで電話連絡をいれることがあった。

登園許可書提出状況

病名	ひよこ組	りす組	うさぎ組	ぱんだ組	きりん組	計
急性胃腸炎				1	1	2
感染性胃腸炎		1				1
伝染性紅斑	2	1		16	5	24
手足口病		1				1
インフルエンザＡ	5	1	5	7	3	21
インフルエンザＢ						0
水痘					1	1
ヘルパンギ―ナ	1					1
溶連菌感染症		1	3	1	2	7

アデノウイルス	1		1			2
マイコプラズマ				4		4
RS ウイルス感染症	1					1
RS ウイルス気管支炎	1					1
ヒトメタニューモウイルス感染症	0					0
咽頭結膜熱(プール熱)						0
おたふくかぜ						0
急性咽頭炎						0
ウイルス性発疹症						0
コロナウイルス						0
計	11	5	9	29	12	66

◎12 月に園全体でインフルエンザ A が流行した。

・未満児クラスでは発熱で連絡を入れることが多かった。

保険日誌

日時　性別　年齢	事故の場所と状況と結果	応急処置の内容	保護者への連絡・報告
7．6．10（火） 女児（3歳8か月）	ぱんだ組にて食事中、椅子から立ち上がった際に、左肘を椅子にぶつける。本児はトイレに行きたかったとのこと。ぶつけたか捻ったかは不明。	左肘を冷やし、添え木（牛乳パック）で固定。	①椅子に左肘をぶつけて、肘の内側が少し腫れていること、念のため受診することを伝える。 ②受診時間終了の為、園に戻ってきたこと、午睡後看護師が診て、必要であれば受診することを伝える。
8．3．5（木） 男児（6歳3か月）	遊具（登り棒）に登り、遊具の三分の一の高さから転落し、腕が下敷きになって落ちる。	腕を固定する。	遊具から転落し腕が腫れているため、川原整形外科を受診すること、また何か分かり次第連絡することを伝える。 （熊本整形外科に勧められてから）病院からの勧めで熊本整形外科に受診すること、判断等もあるので出来れば保護者に来て頂きたいことを伝える。病院で合流。
8．3．27（木） 男児（3歳6か月）	ブランコに乗って遊んでいる際転落し、跳ね返ってきたブランコにぶつかる。鼻血が出ており、鼻の付け根が腫れる。	鼻をティッシュで押さえ、氷で冷やす。	①ブランコから転落し、ブランコで鼻を打ってしまい、鼻血が出て鼻の付け根が腫れているため、川原整形外科を受診することを伝える。 ②打撲だったこと、擦り傷に塗る薬が出ていることを伝える。また何かあれば連絡します。

・園庭での園児の様子の把握と確実に見守りの体制を整えて保育を行ない、事故防止に努めなければならない。
・以上児クラスでも子どもたちの動き・遊びかたをしっかりと注意してみることが大切だと思う。

「すくすく便り」

号数	発行月	内　容	号数	発行月	内　容
109	4 月	新年度　体調に気をつけて過ごしましょう	112	10 月	目の愛護デーについて
110	6 月	歯と口の健康週間	113	12 月	感染症について
111	8 月	熱中症について	114	2 月	子どもの花粉症について

・季節に沿って、内容をピックアップし家庭でも早めに対策、対応できるように取り上げた。

食育便り＝R7 年度のテーマは「食事のマナー」

号数	発行月	内容	号数	発行月	内容
97 号	5 月	朝ごはんについて	100 号	11 月	冬野菜について
98 号	7 月	食事のマナーについて	101 号	1 月	免疫力アップの食材について
99 号	9 月	食中毒予防について	102 号	3 月	食事のマナーチェックについて

VI給食および食育活動

①	月日	内容	感想及び課題
年長児クッキング	7/18	お泊り保育　　カレー作り （人参　玉ねぎ　じゃが芋）	・野菜を切るまでは、しっかり話を聞いていたが、切ってしまうと姿勢が崩れて、少々落ち着きがなかった。
	10/29	サンドイッチ作り （食パンにジャムやマーガリンを塗り好みの大きさに切る）	・初めてのクッキングで、ワクワクしながら始まる前から早くしたいと言っていて、始まると落ち着いて話を聞いていた。
	11/27	フルーツヨーグルト （果物を食べやすい大きさに切り、ヨーグルトと和える）	・エプロンも自分たちで付け合ったりして協力して準備していた。包丁も落ち着いて扱っていて、慎重に切っていた。
	1/20	三色団子 （三色それぞれの団子を丸め、熱湯の中に入れ、浮いた物から取り上げる）	・お湯の中から掬うのに苦戦していたが、お餅をお湯に入れる作業は、丁寧にしていて、跳ね返りも少なかった。

	2/10	ホットケーキ （生地を作り、ホットプレートで焼き、ひっくり返す）	・準備も自分たちでほとんど仕上げ、ホットケーキを返すのも落ち着いていて、やけどにも気を付けていた。
	3/2.3	クッキー作り （生地を作り、好みの型で抜き、飾りつけをする）	・生地作りは柔らかさ、硬さを感じながら混ぜていた。型抜きでは、自分が先だと言ったりする場面もあったが、楽しんで取り組んでいた。 時には譲り合いながらルールを守って型抜きもしていた。

② 全体クッキング	月	内容	感想及び課題
	5月	グリンピースの皮むき	・以上児はパンダ組とともにチームに分けて、作業を行う。B,C グループを気にかけつつ、協力して取り組んでいた。 ・未満児は、興味を持って取り組み、少し切れ目を入れて剝きやすくし、楽しんで食に興味が持てるきっかけになっていた。
	7月	スイカの収穫	・とてもおいしそうに頬張っていて次々と口にいれていた。夏を感じるいい機会になっていた。
	1月	団子汁会	・中には触るのを嫌がる子もいるが、みんな好きな形にしたり、丸めたりして楽しみ、だご汁もおいしく食べていた。特に以上児はみんなで立食し、温かい雰囲気で食べていた。
	2月	焼き芋会	・火をじっと見つめ、お芋を包む。以上児は火にお芋を入れたりし、わくわくしている様子だった。全クラス一緒にホールで食べ、もりもり食べていた。

③ バイキング	クラス（年齢）	実施月	感想
	A（5歳児）	4月　7月　10 月　12月 2月	・今年度もしゃもじ、トングの使い方を伝えながら取り組むが、なかなか身に付かなかった。 ・自分の食べる量を調節しながら楽しんで食べ、バイキングを楽しみにしていて、普段あまり食べ進めない子もみんなで食べる楽しい雰囲気でよく食べていた。
	B、C（4、3歳児）	6月　9月　11月　1月	
	以上児合同	8月　　3月	

④ 新メニュー

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
品数	1	2	2	3	3	2	2	3	1	2	3	1
感想	・今年度も昨年度に続き汁物を多めにメニューに取り入れ、季節の野菜を取り入れつつ新しいメニューでも食べやすいように工夫して取り入れてみた。野菜が苦手な子や食が細い子が増えてきているので、食べやすいように工夫しつつ「これは食べられる！」と自信につながるように取り入れてみた。汁物については以前のような苦手意識がある子が少なくなり、年長児の３月のリクエストメニューでたくさんいろいろな種類の汁ものがリクエストされるようになった。が、まだ野菜の多い汁物になると苦手意識のある子が多いと感じた。野菜に関しては、途中入園した子は苦手な子が多く、在園児は慣れてきていて新メニューでなければ、大体食べられるようになった。野菜に苦手意識がある子に対しては一口でも頑張って食べたという達成感を大切にして、これからも取り組んでいきたい。おやつは新しいメニューでもよく食べてくれていたので良かった。											

⑤ 手作りおやつへの取り組み

幼児期は消化吸収能力も未発達のため、成長や運動に見合った栄養を取ることが出来ない。そのため、おやつはこうした栄養を補給するために提供している。おやつ時には子どもの苦手な野菜などあまり好んで食べない食材を好みのおやつに入れて摂取するように工夫した。おやつは昔ながらのおやつを取り入れつつ、季節感の出るようなものにした。行政の指導により、団子のような、のどに詰まらせる可能性があるおやつは提供しないようになった。おにぎりは米の高騰により提供が厳しくなったので安定するまでは休止にする。

⑥ 菜園活動

プランター	夏	冬
ひよこ組（０歳児）	トマト、ピーマン、オクラ	
りす組（１歳児）	トマト、ピーマン、オクラ	スナップエンドウ
うさぎ組（２歳児）	ピーマン	
ぱんだ組（３～４歳児）	トマト、キュウリ、ピーマン	
きりん組（５歳児）	枝豆、トマト	
畑	玉ねぎ	サツマイモ
感想 ・各クラス子どもたちと話し合い、決め、子どもたちと一緒に植え、育てて収穫を楽しむ。 土の感触を感じつつ、苗を一緒に植え、水をあげたりする中で日々の成長を楽しみ、収穫を喜んでいた。収穫		

後、そのまま食べたり、みんなで調理をしたりして嬉しそうに食べ、食への関心、食欲につながっていた。自分たちで育てて収穫した野菜が給食やおやつで出たりすると苦手でも食べてみようと意欲的になり、みんなで食べるという雰囲気に食欲を高めていた。苗を見せながら野菜の名前を伝え、植え方なども実際に見せながら子どもたちにプランターや畑に植えてもらった。自分たちで育てるという気持ちが持てるように取り組んだ。　・色々な食材に触れ、食材の形・香りなどを知り、給食や食材に興味を持つように努めた。　・心身の発達の糧にある乳幼児にとって、食生活は貴重な意味を持つ。食に関するかかわりを高め、家庭的な雰囲気作りや喜び、感謝を持って食事が摂れるように努めた。
・季節に応じた旬の野菜を使い、行事食、郷土料理を取り入れ変化にとんだ給食であるように工夫した。
・手作りおやつやクッキング保育によって素材に触れ食べ物に親しみを持つようにしながら、食事マナー等の食習慣を身につけ、健康な体作りを図った。

⑦ カウプ指数（肥満度指数）

クラス年齢	1学期平均（5月）			2学期平均（11月）			3学期平均（3月）			平均指数
	身長cm	体重kg	指数	身長cm	体重kg	指数	身長cm	体重kg	指数	
ひよこ 0歳				75.1	10.5	18	82.1	12.1	17	18
りす 1歳	85.3	12.9	16	88.6	13.2	16	94.0	14.9	16	16
うさぎ 2歳	92.9	13.8	16	97.0	15.8	16	99.2	16.5	16	16
ぱんだ 3歳	99.2	15.3	16	101.5	17.5	16	108.6	19.3	16	16
ぱんだ 4歳	106.6	18.5	16	109.7	19.1	15	112.9	20.1	15	15
きりん 5歳）	114.3	21.1	16	116.9	21.5	16	120.0	22.9	16	16
平均	16			16			16			16
評価の基準	13未満　やせすぎ　　13～15　やせ気味　　15～19　標準 19から22　太り気味　　22以上　太りすぎ　　30以上　肥満									

感想	・未満児は後半に体の動きが活発に動かすことが出来るようになるため指数が減っていき、 以上児は体を動かすことにより食事の食べ込みなどが出来るようになるため指数が増えた。 が近年、やせ気味の子が増えてきており、新たに家庭での食生活の見直しが必要になってきているように感じる。以上児はやせ気味の子が少し多くなってきており、食の偏食気味な子が家庭で野菜をあまり食べず、好きなものを好きなだけ食べる傾向にある。食生活については食育だよりで発信しているが、食についての関心が薄いように感じる。興味を持ってもらえるように取り組みを考えないといけないと思ったので、連絡帳に食についての悩みがあった場合は食育だよりで発信するようにした。 ・秋の運動会などの行事等で体を動かすので体力作りに合うような献立を目指して提供した。 ・肥満指数は平均では標準になっているが、最近はよく食べる子と食べない子の差が出てきている。食事量に関しては各クラスで個人の食べこめる量があるので調節している。

⑧ 食育活動（絵本　紙芝居　人形劇　カルタ）

<table>
<tr><td>絵本</td><td>紙芝居</td><td>人形劇・カルタ
パネルシアター・お話</td></tr>
<tr><td rowspan="2">・はるやさいのはるやすみ
・なつやさいのなつやすみ
・おやさいのパーティーおおさわぎ
・げんき給食いただきます。
・おいしいあじのおてつだい
・じゃがいもじゃがじゃが
さつまいも
・はなみずじゅるじゅるせき
ごほごほ</td><td>・きこえたね、いただきます
・グリーンマントのピーマンマン
・みんなでげんきになくさがゆ</td><td>・ピーマンマンの人形劇
・食育ジャンボカルタ
・食育カルタ
・おべんとう
・配膳の仕方
・よふかし大魔王
・ななくさがゆ</td></tr>
<tr><td colspan="2">感想
・各クラスで年齢に応じた読み聞かせをし、食への関心を高めていた。
・季節の行事の食育に合わせた絵本や紙芝居を読み進める中で行事の由来やなんでこの時期にその食材を食べるのかを知り、考えるいい機会になっていた。
・食材の旬や体に働きかける力等も知ることが出来る機会になっていた。</td></tr>
</table>

Ⅶ　保護者の会主催行事・保護者支援事業の状況

1）保護者の会主催行事

夏祭り 7/２６（土）	在園児のみではなく、卒園児も参加して行われ喜んでおられた。
餅つき大会 1/17（土	子ども達も順番で杵を持っての餅つき体験ができ喜んでいた。

2）地域活動事業

	内　　容
子育て支援事業 ・エンゼルキッズ	・「エンゼルキッズ」職員派遣　託麻原校区社会福祉協議会主催 ・中央保健福祉センター　　校区民生委員　校区主任児童委員 校区内保育所（4ヵ園）
子育てマップ会開催	・託麻原校区コミュニティセンターにて開催 必要に応じて職員を派遣
子育ての集い	・託麻原校区社会福祉協議会　校区民生児童委員協議会主催 ・熊本市中央保健福祉センター　託麻原小校区内4保育園協力 ・年1回4保育園の場所提供職員派遣
園庭開放	・月～金　午前中解放 ・年間通して見学の際に遊んで行かれている
拡大会議	・校区社協主催 ・校区社協長　校区14町内会代表自治会長　　老人会会長 麻原小学校校長　帯山中学校校長　校区内4保育園園長

3）世代間交流

敬老の集い 9/12	在園児の祖父母が対象1世帯2名までの参加　　41世帯　61名の参加があった
高齢者の集い 9/18	地域の高齢者との交流会（近隣4つの町内会の高齢者対象）　29名の参加

4）早朝・延長保育事業実施状況

（早朝保育時間 7:00～8:00　　延長保育時間 18:00～19:00）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計（名）
6年度 保育日数	25	24	25	26	26	23	26	24	24	23	22	25	293
7年度 保育日数	25	24	25	26	25	24	26	23	24	23	22	25	292
6年度 早朝	283	265	230	262	212	229	260	237	245	256	228	289	2996
7年度 早朝	334	354	389	398	310	349	406	317	282	286	299	377	4101
6年度 延長	141	137	124	156	91	131	136	146	130	138	110	128	1568
7年度 延長	92	102	87	96	82	101	109	100	122	106	110	131	1238

比較	年間総数（名）	月平均（名）	一日平均（名）
6年度早朝	2996	181.6	7.4
7年度早朝	4101	341.7	15.5
6年度延長	1568	130.6	5.4
7年度延長	1238	103.1	4.6

＊早朝保育…7:00 開園　早出勤務 6:50 出勤　一月に 2～3 回　1 日 70 分の早出勤務

＊延長保育…（標準時間）18:00~18:30 までを 200 円延長保育料徴収し、18:30 を過ぎると 100 円加算して徴収している。

（短時間）8:45 前の早朝保育預かりも延長保育料金を 30 分 100 円、1 時間 200 円、~とし徴収している。

＊職員の勤務は一月に 2～3 回の居残りがあり早朝、延長合わせて、平均月 4～5 回の回数でローテーションを組んでいる。

Ⅷ　職員研修

研修区分・主催	研修内容	人数	研修内容	人数
法人	労務管理研修（オンライン） 中堅職員研修会 幹部職員研修会 会計研修会	6 2 3 2		
カトリック関係	福岡教区熊本地区保育者研修会	2		
保育園連盟	園長・主任保育士研修会 給食部会合同研修会 園長研修会 主任保育士・主幹保育教諭研修 リーダー保育者研修会 発達支援研修会	1 1 1 1 1 1	人材養成支援事業特別研修会	2
保育 幼稚園課	保育所等給食・食育説明会 乳児保育 保健衛生 障がい児保育・教育 保健衛生 こどもの虫歯予防研修会	1 1 2 1 1 2	保護者支援研修会 「発達障害」子どもの理解と接し方 （オンライン） 小学校との連携研修会	2 10 1
中央区保健子ども課	食育推進ネットワーク	2		

熊本県	熱中症予防指導員研修	1		
ブロック	あそびとふれあいで広がる保育 給食部会 発達の理解と支援の実践 食育視察研修	1 2 1 1	リーダーのためのスキルアップ研修 3歳以上保育実践研修会	1 1
その他	子供の性暴力防止法に関する 子どもの理解（事例等）	2 10	ハラスメント防止研修（オンライン） 保育の手立て（子どもの支援）	14 12

キャリアップ研修受講

職域・必須単位	氏　名	取得単位	
副主任2名 **4分野必須**	A	4分野	最初国が予定されていた令和3年度までに必要単位の取得に関しては各自の努力によりほぼ取得された。 今後の園の保育の質の底上げのためにも大いに活躍を期待したいと思う。
	B	7分野	
専門リーダー **4分野必須**	C	5分野	
	D	7分野	
	E	7分野	
	F	6分野	
分野別リーダー **1分野必須**	G	2分野	
	H	1分野	
	I	6分野	
主任保育士	K	4分野	

＊令和4年度より上記のメンバーの研修は必須条件となっており、処遇改善手当が各職務に応じて支給されている。キャリアアップ研修の費用と日数は公認、オンライン研修、レポート提出が必須。1科目15時間を要する。現状として、熊本県主催の研修の参加するため係る費用負担はない。研修期間の保育は他の職員で補うことになるので、お互いに理解しながら進め、全員が全分野の取得を目指し経験年数により他の職員も次のステップとして分野取得を考えている。

園内研修と福利厚生

種　　類	内　　容
1）法人の精神	＊法人の聖嬰会の精神を深め保育に生かす努力を続ける 24年度より職員会議（ミニ会議）の前に創立者の伝記や遺稿、聖嬰会の心の冊子等を読みながら,法人の精神を深めていく手段としている。 ＊朝礼を行う時間が取れないため、朝礼伝達表を通して「典礼暦」「修道会の記念日」等を思い起こす記事の掲載に努めている。 ＊神父様の講話を年に2回依頼し、カトリックについて聖書のお話を職員向でしている。
2）歌唱指導	＊園児の歌のレッスンの指導をお願いしている先生に、毎月1回職員の歌唱指導を受けている。本格的な声楽家の指導で毎年春に「お花見コンサート」が県立劇場にて開催されており、本園も協賛出演で4，5歳児と職員が舞台に立たせて頂いている。保護者の

	方も楽しみにされ、喜ばれている。
3）救急訓練	＊「人工呼吸器」から AED 設置に替り、業者に職員に使用方法と訓練が行われている。
4）職員福利厚生	＊職員親睦会　（歓迎会、年度初め会、忘年会、お別れ会、お疲れ様会（弁当）等
5）健康診断	＊年２回実施
6）細菌検査	＊細菌検査：赤痢菌　サルモネラ菌　O157　　毎月実施 受検者：調理担当２名　乳幼児担当８名　主任保育士１名　　計 11 名 ＊ノロウイルス抗原検査:調理師２名　年１回

IX　全体の動向

月　日	行　　事	月　日	施設整備
4/ 1	始園式		
3	入園式		
18	幼年消防クラブ結成式		
25	誕生会		
26	クラス懇談会		
5/　1	こどもの日祝福式		
8．9	蟯虫検査		
14	健康診断		
17	お見知り遠足（雨天のため保育園内）		
23	誕生会		
30	聖母行列		
31	保護者の会総会		
6/　12	歯科検診		
20	誕生会	6/30	プールオーニング工事
26	フッ素塗布１（０～2 歳児）		2,953,225 円
7/　1	プール開き		
7	七夕まつり	7/15	AED 購入　　220,000 円
11	誕生会		
17．18	年長児お泊り保育		
26	夏祭り　（保護者の会主催）		
28	混合保育開始		
8/　22	誕生会		
29	水泳大会　　混合保育終了		
9/　12	敬老の集い		
18	高齢者とのふれあい会		
10/　2	フッ素塗布２		
9	運動会予行練習１		
16	運動会予行練習２		

18	運動会		
21	秋の遠足		
24	誕生会		
29	年長児クッキング		
11/ 6	園外保育		
7	内科検診		
13	保育参観		
14	七五三祝福式		
19	勤労感謝デー （県警機動隊訪問）		
21	（中央消防署訪問）誕生会		
12/4	お祝い会予行練習1		
5	シルエット劇場 （年長児）		
12/ 6	親子ふれあい会（保護者の会主催）		
11	お祝い会予行練習II		
13	クリスマスお祝い会		
19	誕生会		
24	クリスマスパーティー		
25	ご降誕ミサ参列 （年長児）		
29~1/4	年末年始休み		
1/ 5	年の初めの集い		
8	だご汁会		
9	なわとび大会		
17	餅つき会（保護者の会主催）		
23	誕生会		
29	かるた大会		
2/ 3	節分		
5	焼き芋会		
6	フッ素塗布III	2/6	パソコン入れ替え 264,550円
10	年長児クッキング		
17	小学校交流会（年長児）		
19	マラソン大会	3/13	Wi—Fi工事 271,700円
20	誕生会		
3/ 2	年長児 クッキー生地作り		
3	年長児 クッキー型抜き ひな祭り		
4	幼年消防クラブ終了式 （年長児）		
6	誕生会 お別れ会		
15	お花見コンサート	3/30	散歩車 123,000円
21	卒業式 （年中児参加）		
30. 31	新年度準備		

業務委託契約及び実績報告

業務内容	委託業者
消防用設備点検	末吉商会　　実施日：5/22　　11/28
非常通報装置保守点検	テルウェル西日本　　実施日：4/4　　7/2　　10/9　　1/28
空調機フィルター点検	西部ガスリビング　　実施日：年2回
電気保安管理業務	九州電気管理技術者協会　　実施日：　　毎月1回
園庭樹木芝管理業務	（有）わかまつ造園　　実施日：年間を通しての樹木、芝生の維持管理